

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2003-289867

(43)Date of publication of application: 14.10.2003

(51)Int.CI.

C12N 15/09 C12J 1/04 C12N C12N

// (C12N 1/21 C12R 1:02

(21)Application number: 2002-098589

(71)Applicant: MITSUKAN GROUP HONSHA:KK

(22)Date of filing:

01.04.2002

(72)Inventor: NAKANO SHIGERU

(54) ACONITASE GENE OF ACETOBACTER, ACETOBACTER BRED BY USING THE GENE, AND METHOD FOR PRODUCING VINEGAR BY USING THE ACETOBACTER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new aconitase gene associated with acetic acid resistance, a microorganism by using the gene, and to provide a method for producing a vinegar having a high concentration of acetic acid by using the microorganism.

SOLUTION: A protein having a specific amino acid sequence derived from the acetobacter and aconitase activity, the DNA encoding the protein, the microorganism containing the DNA and the method for producing the vinegar having the high concentration of acetic acid by using the microorganism are provided.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.03.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2003-289867 (P2003-289867A)

(43)公開日 平成15年10月14日(2003.10.14)

4B050 CC01 CC03 DD02 LL02 4B065 AA01X AA02X AA02Y AB01

BA02 BB06 BB08 CA10 CA41

(51) Int.Cl.7	識別記号	FΙ	テーマコード(参考)
C12N 15/09	ZNA	C 1 2 J 1/04	103Z 4B024
C 1 2 J 1/04	103	C 1 2 N 1/21	4 B 0 2 8
C 1 2 N 1/21		9/88	4B050
9/88		C 1 2 R 1:02	4B065
// (C12N 1/2)		C12N 15/00	ZNAA
" (O 1 0 1 · 1 · 1 · 1	審査請求	未請求 請求項の数9 OI	, (全 23 頁) 最終頁に続く
(22)出顧日	平成14年4月1日(2002.4.1)		ソカングループ本社 市中村町2丁目6番地
			郎阿久比町卯坂字坂部28
		(74)代理人 100091096	1. 1410 (NO.5)
			木 祐輔 (外2名) AAO5 CAO4 DAO5 EAO4 FAO2 GAll
		4B028	BC07 BL22 BP01 BX03

(54) 【発明の名称】 酢酸菌のアコニターゼ遺伝子、該遺伝子を用いて育種された酢酸菌、及び該酢酸菌を用いた食酢の製造方法

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 酢酸耐性に関与する新規なアコニターゼ遺伝子を提供すること、及び該遺伝子を用いて微生物並びに該微生物を用いて高酢酸濃度の食酢を効率良く製造する方法を提供すること。

【解決手段】 アセトバクター由来の特定のアミノ酸配列を有し、アコニターゼ活性を有するタンパク質、これらタンパク質をコードするDNA、これらDNAを含む微生物及びこれら微生物を用いた高酢酸濃度の食酢の製造法。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記の(a)又は(b)のタンパク質。

- (a)配列表の配列番号 2 に記載のアミノ酸配列を有する タンパク質。
- (b) 配列表の配列番号2に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項2】 下記の(a)又は(b)のタンパク質。

- (a)配列表の配列番号 4 記載のアミノ酸配列を有するタンパク質。
- (b)配列表の配列番号4に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項3】 下記の(a)又は(b)のタンパク質をコードするDNA。

- (a)配列表の配列番号 2 に記載のアミノ酸配列を有する タンパク質。
- (b)配列表の配列番号 2 に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項4】 下記の(a) 又は(b) のタンパク質をコード するDNA。

- (a)配列表の配列番号 4 記載のアミノ酸配列を有するタンパク質。
- (b) 配列表の配列番号4に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。

【請求項5】 下記の(a)又は(b)の塩基配列からなるD NA。

- (a) 列番号1 に記載の塩基配列のうち、塩基番号354~3065からなるDNA。
- (b)配列番号1に記載の塩基配列のうち、塩基番号354~3065からなる塩基配列からなるDNA又は該DNAの一部と相補的な塩基配列からなるDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA。

【請求項6】 下記の(a) 又は(b) の塩基配列からなるDNA。

- (a)配列番号3に記載の塩基配列のうち、塩基番号48 9~3179からなるDNA。
- (b)配列番号3に記載の塩基配列のうち、塩基番号489~3179からなる塩基配列からなるDNA又は該DNAの一部と相補的な塩基配列からなるDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA。

【請求項7】 請求項3,4,5又は6に記載のDNA

を細胞内に含むアコニターゼ活性を有する微生物又は前 記アコニターゼ活性を有しかつ酢酸耐性が増強された微 生物。

【請求項8】 微生物がアセトバクター属、又はグルコ 05 ンアセトバクター属に属する酢酸菌であることを特徴と する請求項7に記載の微生物。

【請求項9】 請求項7又は8に記載の微生物をアルコールを含有する培地で培養して該培地中に酢酸を生成蓄積せしめることを特徴とする食酢の製造方法。

0 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、微生物に由来するアコニターゼ活性を有するタンパク質をコードする遺伝子、該遺伝子を含む微生物、特にアセトバクター属(Ac tobacter)及びグルコンアセトバクター属(Gluconace tobacter)に属する酢酸菌、及びこれらの微生物を用いて高濃度の酢酸を含有する食酢を効率良く製造する方法に関する。

[0002]

- 20 【従来の技術】酢酸菌は食酢製造に広く利用されている 微生物であり、特にアセトバクター属及びグルコンアセ トバクター属に属する酢酸菌が工業的な酢酸発酵に利用 されている。酢酸発酵では、培地中のエタノールが酢酸 菌によって酸化されて酢酸に変換され、その結果、酢酸 が培地中に蓄積することになるが、酢酸は酢酸菌にとっ ても阻害的であり、酢酸の蓄積量が増大して培地中の酢 酸濃度が高くなるにつれて酢酸菌の増殖能力や発酵能力 は次第に低下する。
- 【0003】そのため、酢酸発酵においては、より高い 30 酢酸濃度でも増殖能力や発酵能力が低下しないこと、す なわち酢酸耐性の強い酢酸菌を開発することが求められ ており、その一手段として、酢酸耐性に関与する遺伝子 (酢酸耐性遺伝子)をクローニングし、その酢酸耐性遺 伝子を用いて酢酸菌を育種、改良することが試みられて 35 いる。
- 【0004】これまでの酢酸菌の酢酸耐性遺伝子に関する知見としては、アセトバクター属の酢酸菌の酢酸耐性を変異させて酢酸感受性にした株を元の耐性に回復させることのできる相補遺伝子として、クラスターを形成する3つの遺伝子(aarA、aarB、aarC)がクローニングされていた(ジャーナル・オブ・バクテリオロジー(J. Bacteriol.),172巻,2096頁,1990年)。この内、aarA遺伝子はクエン酸合成酵素をコードする遺伝子であり、又、aarC遺伝子は酢酸の資化に関係する酵素をコードする遺伝子であると推定されたが、aarB遺伝子については機能が不明であった(ジャーナル・オブ・ファーメンテイション・アンド・バイオエンジニアリング(J. Ferment. Bioeng.),76巻,270頁,1993年)。
- 50 【0005】これらの3つの酢酸耐性遺伝子を含む遺伝

子断片をマルチコピープラスミドにクローニングし、アセトバクター・アセチ・サブスペシーズ・ザイリナム I FO3288 (Acetobacter aceti subsp. xylinum IFO 3288) 株に形質転換して得られた形質転換株は、酢酸耐性の向上レベルが僅かでしかなく、また実際の酢酸発酵での能力の向上の有無については不明であった(特開平 3-219878 号公報)。

【0006】一方、酢酸菌からクローニングされた膜結合型アルデヒド脱水素酵素(ALDH)をコードする遺伝子を酢酸菌に導入することによって、酢酸発酵において最終到達酢酸濃度の向上が認められた例が特開平2-2364号公報に開示されている。しかし、ALDHはアルデヒドを酸化する機能を有する酵素であって酢酸耐性に直接関係する酵素ではないことから、ALDHをコードする遺伝子が真に酢酸耐性遺伝子であるとは断定できないものであった。

【0007】このような実情から、酢酸耐性を実用レベルで向上させうる機能を有するタンパク質をコードする新規な酢酸耐性能を有するタンパク質の遺伝子を取得し、また取得した酢酸耐性遺伝子を用いて、より強い酢酸耐性を有する酢酸菌を育種することが望まれていた。

[0008]

【発明が解決するための課題】本発明は、酢酸菌に属する微生物由来の酢酸耐性に関与する新規なアコニターゼ 遺伝子を提供すること、及び該遺伝子を用いて微生物の 酢酸耐性を向上させる方法、特に酢酸菌に属する微生物 の酢酸耐性を向上させる方法、さらに酢酸耐性が向上し た酢酸菌を用いて、より高酢酸濃度の食酢を効率良く製 造する方法を提供することを目的とするものである。

[0009]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、酢酸存在下でも増殖し、発酵することができる酢酸菌には、他の微生物には存在しない特異的な酢酸耐性に関与する遺伝子が存在するとの仮説を立て、こうした遺伝子を用いれば、従来以上に微生物の酢酸耐性を向上させることができ、さらには高濃度の酢酸を含有する食酢の効率的な製造法を開発することが可能になると考えた。

【0010】従来の酢酸耐性遺伝子の取得方法は、酢酸菌の酢酸感受性の変異株を相補する遺伝子をクローニングする方法などが一般的であった。しかし、このような方法では産業上有用な酢酸耐性遺伝子を見出すことは困難であると考え、鋭意検討した結果、本発明者らは、酢酸菌から酢酸耐性遺伝子を見出す方法として、酢酸の存在下で特異的に発現しているタンパク質を検索し、そのタンパク質をコードする遺伝子を取得するといった、従来全く行われていなかった方法を開発した。

【0011】この方法によって、実際に食酢製造に用いられているアセトバクター属とグルコンアセトバクター 属に属する酢酸菌から、酢酸耐性を実用レベルで向上させる機能を有する新規な酢酸耐性能を有するタンパク質 の遺伝子をクローニングすることに成功した。

【0012】得られたこの遺伝子は、DDBJ/EMB L/Genbankの検索の結果、大腸菌などで見出されている、アコニターゼaconitase(アコニット酸ヒドラターゼaconitate hydratase)と称される一群のタンパク質のアミノ酸配列と相同性を示す部分があるところから、酢酸菌のアコニターゼ(アコニット酸ヒドラターゼ)をコードする遺伝子(アコニターゼ遺伝子)であると推定された。

- 10 【0013】しかし、取得された酢酸菌のアコニターゼ 遺伝子は、大腸菌などの他の微生物で見出されている既 知のアコニターゼ遺伝子とは相同性がきわめて低くかっ たことから、他のアコニターゼ遺伝子と似ているものの 該アコニターゼ遺伝子は酢酸菌に特異的な新規タンパク 質をコードする新規遺伝子であることが判った。一方、 今回取得したアセトバクター属に属する酢酸菌とグルコ ンアセトバクター属に属する酢酸菌のアコニターゼ遺伝 子について相同性を比較したところ、両者の相同性は約 70%であり、酢酸菌間での相同性は高かった。
- 20 【0014】また、該遺伝子をプラスミドベクターに連結して酢酸菌に形質転換し、コピー数を増幅させた形質転換株においては、アコニット酸ヒドラターゼ活性が約2倍増大し、該遺伝子が酢酸菌のアコニターゼ活性を有するタンパク質をコードする遺伝子であることが確認されると同時に、顕著に酢酸耐性が向上することが確認された。さらに、エタノール存在下で該形質転換株を通気培養した場合には、増殖速度が向上する上に、生酸速度が向上し、さらに最終到達酢酸濃度が顕著に向上することなども見出し、本発明を完成するに至った。
- 30 【0015】すなわち本発明は、以下の(1)~(9) からなるものである。
 - (1) 以下の(a)又は(b)のタンパク質。
 - (a)配列表の配列番号 2 に記載のアミノ酸配列を有する タンパク質。
- 35 (b)配列表の配列番号2に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。
 - (2) 以下の(a)又は(b)のタンパク質。
- 40 (a) 配列表の配列番号4記載のアミノ酸配列を有するタンパク質。
- (b)配列表の配列番号4に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。
 - (3) 以下の(a)又は(b)のタンパク質をコードするD NA
 - (a) 配列表の配列番号 2 に記載のアミノ酸配列を有する タンパク質。
- 50 (b)配列表の配列番号2に記載のアミノ酸配列におい

て、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。

- (4) 以下の(a)又は(b)のタンパク質をコードするD NA。
- (a)配列表の配列番号4記載のアミノ酸配列を有するタンパク質。
- (b)配列表の配列番号4に記載のアミノ酸配列において、1若しくは数個のアミノ酸の欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、アコニターゼ活性を有するタンパク質。
- (5) 以下の(a)又は(b)の塩基配列からなるDNA。 (a)配列番号 1 に記載の塩基配列のうち、塩基番号 3 5 $4\sim3065$ からなるDNA。
- (b)配列番号1に記載の塩基配列のうち、塩基番号35 4~3065からなる塩基配列からなるDNA又は該D NAの一部と相補的な塩基配列からなるDNAとストリ ンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、アコニ ターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA。
- (6) 以下の(a)又は(b)の塩基配列からなるDNA。
- (a)配列番号3に記載の塩基配列のうち、塩基番号48 9~3179からなるDNA。
- (b) 配列番号3に記載の塩基配列のうち、塩基番号48 9~3179からなる塩基配列からなるDNA又は該D NAの一部と相補的な塩基配列からなるDNAとストリ ンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、アコニ ターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNA。
- (7) (3), (4), (5) 又は(6) に記載のD NAを細胞内に含むアコニターゼ活性を有する微生物又は前記アコニターゼ活性を有しかつ酢酸耐性が増強された微生物。
- (8) 微生物がアセトバクター属、又はグルコンアセトバクター属に属する酢酸菌であることを特徴とする (7) に記載の微生物。
- (9) (7) 又は(8) に記載の微生物をアルコール を含有する培地で培養して該培地中に酢酸を生成蓄積せ しめることを特徴とする食酢の製造方法。

【0016】本発明によれば、微生物に対して、酢酸に対する耐性を付与し、増強することができる。そして、アルコール酸化能を有する微生物、特に酢酸菌においては、酢酸に対する耐性が顕著に向上し、培地中に高濃度の酢酸を効率良く蓄積する能力を付与することができる。

[0017]

【発明の実施の形態】以下、本発明を詳細に説明する。

(1) 本発明のDNA

本発明のDNAは、アコニターゼ (アコニット酸ヒドラターゼ) 活性を有し、且つ酢酸耐性を向上させる機能を有する配列番号2又は4に示すアミノ酸配列を有するタ

ンパク質をコードする塩基配列を包含し、該塩基配列の 調整要素、及び該遺伝子の構造部分を含むものである。 本発明のDNAとして、具体的には、配列表配列番号1 の塩基番号354~3065又は配列表配列番号3の4 05 89~3179からなる塩基配列を有するDNAが挙げ られる。

【0018】配列番号1又は3に示す塩基配列は、DDBJ/EMBL/Genbank及びSWISS-PROT/PIRにおいてホモロジー検索したところ、アミノ酸配列レベルで大腸菌(Escherichia coli)のAcnA遺伝子と55.1%、レジオネラ・ニューモフィラ(Legionella pneumophila)のAcn遺伝子とも56.1%の相同性を示すことが分かったが、いずれも50%台の低い相同性であり、これらのタンパク質をコードする遺伝子とは異なる新規なものであることが明白であった。なお、上記のAcnA遺伝子やAcn遺伝子などのアコニターゼ遺伝子が酢酸耐性と関係していることは全く知られていない。

【0019】本発明のDNAはその塩基配列が明らかと 20 なったので、該塩基配列に基づいて合成したオリゴヌク レオチドをプライマー1(配列番号5)及びプライマー 2 (配列番号6)を用い、酢酸菌、例えばアセトバクタ ー・アセチNo.1023(Acetobacter aceti No.102 3;FERM BP-2287)のゲノムDNAを用いるポリメラーゼ・ チェーン・リアクション(PCR反応)(トレンズ・オ ブ・ジェネティックス(Trends Genet.) 5巻,185 . 頁,1989年)によって、または該塩基配列に基づい て合成したオリゴヌクレオチドをプローブとして用い、 ゲノムDNAライブラリーを用いるハイブリダイゼーシ 30 ョンによっても得ることができる。オリゴヌクレオチド の合成は、例えば、市販されている種々のDNA合成機 を用いて定法に従って合成できる。また、PCR反応 は、アプライドバイオシステムズ社(Applied Biosyste ms) 製のサーマルサイクラーGeneAmp2400な 35 どを用い、TaqDNAポリメラーゼ(宝酒造社製)や KOD-Plus-(東洋紡績社製)を使用して、定法 に従って行なうことができる。

【0020】本発明のアコニターゼ活性を有するタンパク質をコードするDNAは、コードされるタンパク質の アコニターゼ活性が損なわれない限り、1又は複数の位置で1又は数個のアミノ酸が置換、欠失又は付加された タンパク質をコードするものであっても良い。

【0021】このようなアコニターゼ活性を有するタンパク質と実質的に同一のタンパク質をコードするDNA は、例えば部位特異的変異法によって、特定の部位のアミノ酸が欠失、置換又は付加されるように塩基配列を改変することによっても取得され得る。また、上記のような改変されたDNAは、従来知られている突然変異処理によっても取得することができる。

50 【0022】また、一般的にタンパク質のアミノ酸配列

およびそれをコードする塩基配列は、種間、株間、変異体、変種間でわずかに異なることが知られているので、 実質的に同一のタンパク質をコードするDNAは、酢酸 菌全般、中でもアセトバクター属やグルコンアセトバク ター属の種、株、変異体、変種から得ることが可能である。

【0023】具体的には、アセトバクター属やグルコンアセトバクター属に属するの酢酸菌、又は変異処理したアセトバクター属やグルコンアセトバクター属に属する酢酸菌、これらの自然変異株若しくは変種から、例えば配列番号1に記載の塩基配列のうち、塩基配列番号354~3065からなる塩基配列を有するDNAと相補的な塩基配列からなるDNAとストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつアコニターゼ(アコニット酸ヒドラターゼ)活性を有し、酢酸耐性を増強する機能を有するタンパク質をコードするDNAを単離することによっても、該タンパク質と実質的に同一のタンパク質をコードするDNAが得られる。

【0024】ここでいうストリンジェントな条件とは、いわゆる特異的なハイブリッドが形成され、非特異的なハイブリッドが形成され、非特異的なハイブリッドが形成されない条件をいう。この条件を明確に数値化することは困難であるが、一例を示せば、相同性が高い核酸同士、例えば70%以上の相同性を有するDNA同士がハイブリダイズし、それより相同性が低い核酸同士がハイブリダイズしない条件、あるいは通常のハイブリダイゼーションの洗浄条件、例えば1×SSCで0.1%SDSに相当する塩濃度で60℃で洗浄が行われる条件などが挙げられる。

【0025】(2)本発明の酢酸菌

本発明の酢酸菌はアセトバクター属及びグルコンアセト バクター属の細菌をさし、酢酸耐性が増強されたアセト バクター属細菌及びグルコンアセトバクター属、または 酢酸耐性が低下したアセトバクター属細菌及びグルコン アセトバクター属である。

【0026】アセトバクター属細菌として具体的には、アセトバクター・アセチ (Acetobacter aceti) が挙げられ、アセトバクター・アセチNo. 1023 (Acetobacteraceti No. 1023) 株 (特許生物寄託センターにFERM BP-2287として寄託) が例示される。

【0027】また、グルコンアセトバクター属細菌としては、グルコンアセトバクター・エンタニイ(Gluconac etobacter entanii)が挙げられ、アセトバクター属よりグルコンアセトバクター属へ変更になった、アセトバクター・アルトアセチゲネスMH-24(Acetobacter altoacetigenes MH-24)株(特許生物寄託センターにFERM BP-491として寄託)が例示される。酢酸耐性の増強は、例えばアコニターゼ遺伝子の細胞内のコピー数を増幅すること、又は、該遺伝子の構造遺伝子を含むDNA断片をアセトバクター属細菌中で効率よく機能するプロモーター配列に連結して得られる組換えDN

Aを用いて、アセトバクター属細菌を形質転換すること によって増強することができる。

【0028】また、染色体DNA上の該遺伝子のプロモーター配列を、アセトバクター属やグルコンアセトバクター属の細菌中で効率よく機能する他のプロモーター配列、例えば大腸菌のプラスミドpBR322(宝酒造社製)のアンピシリン耐性遺伝子、プラスミドpHSG289(宝酒造社製)のカナマイシン耐性遺伝子、プラスミドpHSG396(宝酒造社製)のクロラムフェニコール耐性遺伝子、βーガラクトシダーゼ遺伝子などの各遺伝子のプロモーターなどの酢酸菌以外の微生物由来のプロモーター配列に置き換えることによっても、酢酸耐性を増強することができる。

【0029】該遺伝子の細胞内コピー数の増幅は、該遺15 伝子を保持するマルチコピーベクターをアセトバクター 属細菌の細胞に導入することによって行なうことができる。すなわち、該遺伝子を保持するプラスミド、トランスポゾン等をアセトバクター属やグルコンアセトバクター属の細菌の細胞に導入することによって行なうことができる。

【0030】マルチコピーベクターとしては、pMV24 (アプライド・オブ・エンバイロメト・アンド・マイクロバイオロジー (Appl. Environ. Microbiol.) 55巻, 171頁, 1989年)やpTA5001(a)、pTA5001(b) (特開昭60-9488号公報)などが挙げられ、染色体組み込み型ベクターであるpMVL1 (アグリカルチュラル・アンド・バイオロジカル・ケミストリー (Agric. Biol. Chem.) 52巻, 3125頁, 1988年)も挙げられる。また、トランスポゾン30としては、MuやIS1452などが挙げられる。

【0031】アセトバクター属やグルコンアセトバクター属の酢酸菌へのDNAの導入は、塩化カルシュウム法(アグリカルチュラル・アンド・バイオロジカル・ケミストリー(Agric. Biol. Chem.) 49巻, p.2091, 35 1985年) やエレクトロポレーション法(バイオサイ

エンス・バイオテクノロジイー・アンド・バイオケミストリー (Biosci. Biotech. Biochem.) 、58巻、974頁、1994年)等によって行なうことができる。アルコール酸化能を有するアセトバクター属やグルコンアセトバクター属の酢酸菌において、上記のようにしてそ

の セトハクター機の研修圏において、上記のようにして の酢酸耐性を増強すると、酢酸の生産量や生産効率を増 大させることができる。

【0032】(3)食酢製造法

上記のようにして、アコニターゼ遺伝子のコピー数が増幅されたことにより酢酸耐性が選択的に増強されたアセトバクター属やグルコンアセトバクター属の細菌であって、アルコール酸化能を有するものをアルコール含有培地で培養し、該培地中に酢酸を生産蓄積せしめることにより、食酢を効率よく製造することができる。

50 【0033】本発明の製造法における酢酸発酵は、従来

の酢酸菌の発酵法による食酢の製造法と同様にして行な えば良い。酢酸発酵に使用する培地としては、炭素源、 窒素源、無機物、エタノールを含有し、必要があれば使 用菌株が生育に要求する栄養源を適当量含有するもので あれば、合成培地でも天然培地でも良い。炭素源として は、グルコースやシュークロースをはじめとする各種炭 水化物、各種有機酸が挙げられる。窒素源としては、ペ プトン、発酵菌体分解物などの天然窒素源を用いること ができる。

【0034】また、培養は、静置培養法、振盪培養法、通気攪拌培養法等の好気的条件下で行ない、培養温度は通常30℃で行なう。培地のpHは通常2.5~7の範囲であり、2.7~6.5の範囲が好ましく、各種酸、各種塩基、緩衝液等によって調製することもできる。通常1~21日間の培養によって、培地中に高濃度の酢酸が蓄積する。以下に、本発明を実施例により具体的に説明する。

[0035]

【実施例】 (実施例1) アセトバクター・アセチのアコニターゼ遺伝子のクローニングと該遺伝子の塩基配列及びアミノ酸配列の決定

(1) アコニターゼ遺伝子のクローニング アセトバクター・アセチNo. 1023 (Acetobacter aceti No. 1023) 株 (FERM BP-2287) を 1%の酢酸を含む YPG培地 (3%グルコース、0.5% 酵母エキス、0.2%ポリペプトン)を用いて、30 で 2 4時間振盪培養した。培養後、培養液を遠心分離 (7, $500 \times g$, 10分) して菌体を得た。また、酢酸を含まない YPG培地でも、同様にして培養して、菌体を得た。得られたこれらの菌体を、それぞれソニケーションにより破砕し、その菌体破砕液を遠心分離 (12, $000 \times g$, 10分間) して得られた上澄み液を、さらに超遠心分離 (400, $000 \times g$, 1時間) を行なうことによって上澄み液(可溶性蛋白質)を得た。

【0036】この上澄み液を2×SDS-PAGE泳動緩衝液 (0.125MTris-HCl (pH6.8)、10%2-Mercaptoethanol、4%SDS、10%Sucrose、0.004%Bromophenolblue)に1:1の比率で混合し、沸騰水浴中で3分間加熱処理した。このサンプルをSDS-PAGE電気泳動した後、CBB染色し、1%の酢酸を含むYPG培地で生育したものと、酢酸を含まないYPG培地で生育したものとを比較しところ、分子量約90kDaのバンドが1%酢酸を含む培地で生育したもので発現が増幅しているのが確認された。

【0037】このように発現が増幅していたバンドをP VDF膜に転写し、アミノ末端のアミノ酸配列をプロテ インシークエンサーにて決定した。決定したアミノ酸配 列はMetーLysーThrーValーGlyーHis ーAspーLysーLeuーLysーThrーGlyー Argであった。

レオチドを合成し、これをアセトバクター・アセチN o. 1023株から定法により染色体DNAを抽出し制 限酵素 Sph I (宝酒造社製) で完全分解したものに対 して、サザンハイブリダイゼーションを行なった。 【0039】その結果、約4.6kbpの位置にポジテ ィブなバンドを確認した。このバンドをアガロースゲル より抽出し、大腸菌ベクターpUC19の制限酵素Sp 10 h I 切断部位にライゲーションし、大腸菌 J M 1 O 9 株 に形質転換し、 $100 \mu g/m l$ のアンピシリンを含む LB寒天培地で選択した。出現したコロニーをサザンハ イブリダイゼーションで用いたものと同じオリゴヌクレ オチドをプローブとし、コロニーハイブリダイゼーショ 15 ンを行ない、ポジティブな形質転換体を単離した。その 後、プラスミドDNAをこれらのポジティブな形質転換 体より分離し、挿入断片の構造を制限酵素マッピングに より解析し、その結果、図1に示した約3.6kbpの SphI-XbaI断片を確認した。

【0038】上記のアミノ酸配列を基にしてオリゴヌク

【0040】(2) クローン化された遺伝子断片の塩基 配列の決定

上記挿入断片の塩基配列を、サンガーのダイデオキシ・チェーン・ターミネーション法によって決定した。塩基配列の決定は、両方のDNA鎖の全領域について行ない、切断点は全てオーバーラップする様にして行なった。その内、決定した3073塩基の塩基配列を、配列番号1に示した。

【0041】配列番号1記載の塩基配列中には、塩基番号354から塩基番号3065にかけて、配列番号2に30記載したような904個のアミノ酸をコードするオープンリーディング・フレームの存在が確認された。配列番号2に記載されたタンパク質のN末端側のアミノ酸配列はMet-Lys-Thr-Val-Gly-His-Asp-Lys-Leu-Lys-Thr-Gly-Asp-Lys-Leu-Lys-Thr-Gly-Asp-Lys-Leu-Exp-Nク質のN末端側のアミノ酸配列と完全に一致することが確認された。

【 O O 4 2 】 (実施例 2) グルコンアセトバクター・エンタニイからのアコニターゼ遺伝子のクローニングと塩 基配列及びアミノ酸配列の決定

40 (1) 染色体DNAライブラリーの作製 グルコンアセトバクター・エンタニイ (Gluconacetobac ter entanii) の1株であるアセトバクター・アルトア セトゲネスMH-24 (Acetobacter altoacetigenes MH-24) 株 (FERM BP-491)を6%酢酸、4% 45 エタノールを添加したYPG培地 (3%グルコース、0.5%酵母エキス、0.2%ポリペプトン)で30℃にて振盪培養を行なった。培養後、培養液を遠心分離 (7,500×g、10分)し、菌体を得た。得られた 菌体より、特開昭60-9489号公報に開示された方 法により、染色体DNAを調製した。

【0043】上記のようにして得られた染色体DNAを制限酵素SphIで切断し、その後klenowfragment(宝酒造社製)処理を行なった。また、大腸菌一酢酸菌シャトルベクターpMV24を、制限酵素SmaIで切断した。これらのDNAを適量ずつ混合し、ライゲーションキット(TaKaRaDNALigation KitVer. 2,宝酒造社製)を用いて連結してグルコンアセトバクター・エンタニイの染色体DNAライブラリーを構築した。

【0044】(2) アコニターゼ遺伝子のクローニング上記のようにして得られたグルコンアセトバクター・エンタニイの染色体DNAライブラリーを、通常は酢酸濃度1%程度までしか増殖出来ないアセトバクター・アセチNo. 1023株にエレクトロポレーション法(バイオサイエンス・バイオテクノロジー・アンド・バイオケミストリー(Biosci. Biotech. Biochem.),58巻、974頁,1994年)で形質転換し、2%酢酸、100μg/mlのアンピシリンを含むYPG寒天培地にて、30℃で4日間培養した。

【0045】生じたコロニーを 100μ g/mlのアンピシリン含むYPG培地に接種して培養し、得られた菌体からプラスミドを回収したところ、約5kbpのSphI断片がクローン化されており、このプラスミドをpS1と命名した。クローン化されたDNA断片のうち、アセトバクター・アセチNo. 1023株を2%酢酸を含むYPG培地で生育可能にする断片は、図2に示した約3.5kbpのSphI-XbaI断片であった。このようにして通常は酢酸濃度1%程度までしか増殖出来ないアセトバクター・アセチNo. 1023株を2%酢酸含有培地でも増殖可能にする酢酸耐性遺伝子断片を取得した。

【0046】(3) クローン化されたDNA断片の塩基 配列の決定

実施例1と同様に、アコニターゼ遺伝子を含有する断片について、塩基配列をサンガーのダイデオキシ・チェーン・ターミネーション法よって決定した。その結果、配列番号3に記載した塩基配列が決定された。アセトバクター・アセチNo.1023株の場合と同様に、配列決定は両方のDNA鎖の全領域について行ない、切断点は全てオーバーラップする様にして行なった。このうち、決定した3348塩基の塩基配列について、配列番号3に記載した。配列番号3記載の塩基配列中には、塩基番号489から塩基番号3179にかけて、配列番号4に記載したような897個のアミノ酸をコードするオープンリーディング・フレームの存在が確認された。

【0047】(実施例3)アセトバクター・アセチ由来 のアコニターゼ遺伝子で形質転換した形質転換株での酢 酸耐性の増強

(1) アセトバクター・アセチへの形質転換 アセトバクター・アセチNo. 1023株由来のアコニ

ターゼ遺伝子を含む断片(配列表の配列番号1の塩基番号1~3073)をPCR法により増幅し、この増幅断片を、酢酸菌一大腸菌シャトルベクターpMV24(アプライド・オブ・エンバイロメント・アンド・マイクロの5 バイオロジー(Appl. Environ. Microbiol.)55巻、171頁、1989年)の制限酵素SmaI切断部位に挿入し、プラスミドpACO1を作製した。なお、作製したプラスミドpACO1の挿入断片の塩基配列に変異がないことはシークエンスすることで確認した。

10 【0048】このpACO1をアセトバクター・アセチ No. 1023株にエレクトロポレーション法(バイオ サイエンス・バイオテクノロジイー・アンド・バイオケ ミストリー (Biosci. Biotech. Biochem.)、58巻、974頁、1994年)によって形質転換した。形質転 換株は100μg/mlのアンピシリン及び2%の酢酸を添加したYPG寒天培地で選択した。選択培地上で生育したアンピシリン耐性の形質転換株は、定法によりプラスミドを抽出して解析し、アコニターゼ遺伝子を保有するプラスミドを保持していることを確認した。

 20 【0049】(2)形質転換株の酢酸耐性 上記のようにして得られたプラスミドpACO1を有するアンピシリン耐性の形質転換株について、酢酸を添加したYPG培地での生育を、シャトルベクターpMV24のみを導入した元株アセトバクター・アセチNo.1
 25 023株と比較した。

【0050】具体的には、酢酸0%あるいは3%、エタノール3%、アンピシリン100μg/mlを含む100mlのYPG培地にて、30℃で振盪培養(150rpm)を行ない、形質転換株と元株の酢酸添加培地での30生育を550nmにおける吸光度を測定することで比較した。

【0051】その結果、図3に示すように、3%エタノールのみを添加した培地では、形質転換株、元株アセトバクター・アセチNo. 1023株で生育に差は見られなかったが、3%酢酸と3%エタノールを添加した培地では形質転換株は増殖が可能であったのに対して、元株アセトバクター・アセチNo. 1023株では増殖できなかったことが確認でき、酢酸菌のアコニターゼ遺伝子の酢酸耐性増強機能が確認できた。

40 【0052】(3) 形質転換株と元株の各種酵素活性 プラスミド p A C O 1 を有するアンピシリン耐性の形質 転換株と、シャトルベクター p M V 2 4 のみを導入した 元株アセトバクター・アセチ N o. 1023株でアコニット酸ヒドラターゼ活性 (アコニターゼ活性) をメソッ45 ド・オブ・エンザイモロジー ((Methods Enzymol.), 13巻, 26頁, 1969年)の方法に、アルコール脱水素酵素を酢酸菌の方法 (メソッド・オブ・エンザイモロジー (Methods Enzymol.), 89巻, 450頁, 1982年)、アルデヒ ド脱水素酵素活性を酢酸菌の方法 (メソッド・オブ・エ

ンザイモロジー (Methods Enzymol.) 8 9巻, 491頁, 1982年) にそれぞれ準じて測定し 【0053】 【表1】

た。その結果を表1に示した。

/			
	アコニット酸	アルコール	アルデヒド
	ヒドラターゼ	脱水索酵素	脱水索酵素
	(U/mg)	(U/mg)	(U/mg)
元株	0.56	0.68	3.10
形質転換株	1.16	0.64	2.78

【0054】表1の結果より、形質転換株はアルコール 脱水素酵素、アルデヒド脱水素酵素の活性は元株アセト バクター・アセチNo. 1023株と同レベルであった が、アコニット酸ヒドラターゼ活性については形質転換 株が約2倍高く、クローニングされた遺伝子はアコニッ ト酸ヒドラターゼ(アコニターゼ)をコードしているこ とが確認された。

【0055】(実施例4)アセトバクター・アセチ由来 のアコニターゼ遺伝子で形質転換した形質転換株の酢酸 発酵試験

実施例3で得られたプラスミドpACO1を有するアンピシリン耐性の形質転換株について、シャトルベクターpMV24のみを有する元株アセトバクター・アセチNo.1023株と酢酸醗酵能を比較した。

【0056】具体的には、5Lのミニジャー(三ツワ理化学工業社製; KMJ-5A)を用いて、酢酸1%、エタノール3%、アンピシリン100μg/mlを含む2.5LのYPG培地にて、30℃、400rpm、

15 0.20 v v mの通気攪拌培養を行ない、酢酸濃度3%まで発酵させた。この培養液700mLにエタノール4%、アンピシリン100μg/mlを含む1.8LのYPG培地を添加し、培地中のエタノール濃度を1%に制御し、同じ条件下で通気攪拌培養を行ない、形質転換株

20 と元株の酢酸発酵能を比較した。その結果を表2にまとめた。

【0057】 【表2】

1135070130	最終到達酢酸	比增殖速度	生産速度 (%/hr)
元株	渡度(%)	(OD660/hr)	0.106
形質転換株	10.5	0.0363	0.174

【0058】表2の結果から、形質転換株の方が、最終 到達酢酸濃度、比増殖速度、生酸速度の何れにおいて も、顕著に優れていることが確認できた。

【0059】(実施例5)グルコンアセトバクター・エンタニイ由来のアコニターゼ遺伝子で形質転換した形質 転換株での酢酸耐性の増強

(1) アセトバクター・アセチへの形質転換 グルコンアセトバクター・エンタニイの1菌株であるア セトバクター・アルトアセチゲネスMH-24株由来の アコニターゼ遺伝子を含む断片(配列表の配列番号1の 塩基番号307~3239)をPCR法により増幅し、 その結果得られた増幅断片をBamHI、EcoRIで 切断し、この断片を酢酸菌―大腸菌シャトルベクターp MV24(アプライド・オブ・エンバイロメント・アン ド・マイクロバイオロジー(Appl. Environ. Microbio 1.) 55巻, 171頁, 1989年)の制限酵素Bam HI-EcoRI切断部位に挿入したプラスミドpAC O11を作製した。

【0060】このpACO11をアセトバクター・アセチNo. 1023株にエレクトロポレーション法(バイ

オサイエンス・バイオテクノロジー・アンド・バイオケミストリー (Biosci. Biotech. Biochem.), 58巻, 974頁, 1994年)によって形質転換した。形質転換株は100μg/mlのアンピシリン及び2%の酢酸を添加したYPG寒天培地で選択した。選択培地上で生育したアンピシリン耐性の形質転換株は、定法によりプラスミドを抽出して解析し、酢酸耐性遺伝子を保有するプラスミドを保持していることを確認した。

【0061】(2)形質転換株の酢酸耐性

- 40 上記のようにして得られたプラスミドpACO11を有するアンピシリン耐性の形質転換株について、酢酸を添加したYPG培地での生育を、シャトルベクターpMV24のみを導入した元株アセトバクター・アセチNo. 1023株と比較した。
- 45 【0062】具体的には、酢酸3%、エタノール3%、 アンピシリン100μg/mlを含む100mlのYP G培地にて、30℃で振盪培養(150rpm)を行な い、形質転換株と元株の酢酸添加培地での生育を660 nmにおける吸光度を測定することで比較した。
- 50 【0063】その結果、図4に示すように、3%酢酸と

3%エタノールを添加した培地では形質転換株は増殖が可能であったのに対して、元株アセトバクター・アセチ No. 1023株では増殖できなかったことが確認でき、酢酸菌のアコニターゼ遺伝子の酢酸耐性増強機能が確認できた。

なアコニターゼ遺伝子が提供され、さらに該遺伝子を用いてより高酢酸濃度の食酢を高効率で製造可能な育種株を取得することができ、該育種株を用いたより高酢酸濃度の食酢を高効率で製造する方法が提供できた。

05 【0065】 【配列表】

[0064]

【発明の効果】本発明により、酢酸耐性に関与する新規

SEQUENCE LISTING

<110> Mitsukan Group Corporation

<120> Structral gene of aconitase from acetic acid bacteria, and acetic acid bacteria transformed with said gene, and acetic acid fermentation using said transformants

<130> P02-0084

<140>

141>

160> 4

<170> PatentIn Ver. 2.0

<210> 1

<211> 3073

<212> DNA

<213> Acetobacter aceti

5

⟨220⟩

<221> CDS

<222> (354).. (3065)

<400> 1

tgctgatacc gtccagaacc agcctttctc cacggaagac acagagatcc tcggcataaa 60 gtgctggaaa tgcaccagct tctggcccaa gggcggcttg cccagcaggg aaaggactgt 120 cagcgataac acttctcctt attgttaccg tgcaaggccg caaaagccgg ggtgcttgcg 180

ttctcgtggt cgctcccgc cttgtgcctt ttccaactgc cggtatgttc taggcccaac 240 gggatatcaa gccggttgcc cggcagatct ggcaggcact tggcgccgaa tggtattta 300 cggtgtcctg aacgcatcac cagccatcgg ctgtgatcgg ggagagagcg att atg 356

1

aaa acg gtt ggg cac gat aag cta aaa aca ggc cgc acc ctt gag gtg 404 Lys Thr Val Gly His Asp Lys Leu Lys Thr Gly Arg Thr Leu Glu Val

10

gat ggc aag acc tac cac tat ttt tcc att ccc gaa gcg gca aag acc 452 Asp Gly Lys Thr Tyr His Tyr Phe Ser Ile Pro Glu Ala Ala Lys Thr

0 25 30

att ggc gac gta agc cgc ctt ccg gtt tcg ctg aag gtt ctt ttg gaa 500 Ile Gly Asp Val Ser Arg Leu Pro Val Ser Leu Lys Val Leu Leu Glu

35 40 45

aac att ctg cgg ttt gaa gat ggg cgc tcc tac aat gtg gat gac gcc 548
Asn Ile Leu Arg Phe Glu Asp Gly Arg Ser Tyr Asn Val Asp Asp Ala

aag gcc att gca ggc tgg ttg cca aag ggt agc agt aag gaa gtg 596

Lys Ala Ile Ala Gly Trp Leu Pro Lys Gly Ser Ser Ser Lys Glu Val
70 75 80

									4			++-	700	aat	at t	CC	or.	644
									atg									011
Pro	Pr	e.	Lys		Ser	Arg	11e	Leu	Met	GIN	ASP	rne	AIA	95	Val	ri	U	
				85					90				-+		o t a	0.0	a	692
									cgt									092
Gly	Va			Asp	Leu	Ala	Ala		Arg	Asp	GIY	He		Ser	Leu	Ly	S	
			100					105					110			_+	_	740
									atg									740
G1y	As	sp	Pro	Gln	Lys	Val			Met	Val	Pro		Asn	Leu	vai	11	е	
		15					120					125					_	700
									gca									788
Asp	H	is	Ser	Val	Thr	_	Asp	His	Ala	Gly		Lys	Asp	Ala	Leu			•
130						135					140					14		026
_									cgc									836
Glu	A	sn	Ile	Thr	Leu	Glu	Phe	Glu	Arg		Ala	Glu	Arg	lyr			ie	
					150					155					160			00.4
									gaa									884
Leu	A	rg	Trp	Gly	Gln	Val	Ala	Phe	Glu	Asn	Phe	Ser	Val			PI	0	
				165					170					175				
									aac									932
Asp	T	'nr	Gly	Ile	Cys	His	Glr	ı Val	Asn	Leu	Glu	Tyr			Glr	ı Va	al	
			180					185		-			190					
									aag									980
Ala	1 I	rp	Thi	Ala	a Asr	\Val	Gly	/ G1;	Lys	G1u	Tyr	Val	Tyr	Pro) Ası	o S	er	
		95					200					205						
									acc									1028
Leu	ı 1	ſyr	G1:	Th:	r Asp	Se ₁	Hi	s Thi	Thi	Met	: Ile	Asr	Gly	r Lei	1 Gl;	y V	al	
210	0					215	5				220)				2	25	
tt	g 8	ggc	tg	g gg	t gt	g gg	t gg	t at	t gag	gct	gag	gco	gca	at	g ct	g g	gc	1076
Let	u (Gly	Tr	G1	y Va	1 G1:	Gl Gl	y Il	e Glu	ı Ala	a Glu	ı Ala	Ala	a Me	t Le	u G	ly	
					236	0				235	5				24	0		
ca	g	ccc	at	t gc	c at	g ct	t at	t cc	c ga	t gts	g ato	gg	tt.	t aa;	g ct	g a	ca	1124
G1	n !	Pro	11	e Al	a Me	t Le	u Il	e Pr	o Ası	p Val	111	e Gl	/ Ph	e Ly	s Le	u T	'hr	
				24	5				25	0				25	5			
gg	С	aag	ct	g cc	a ga	a gg	c gc	a ac	a gc	c ac	c ga	t ct	g gt	g ct	g ac	a g	tg	1172
									r Al									
			26					26					27					
ac	c	cag	gat	g ct	g cg	c ag	a aa	a gg	c gt	g gt	g gg	c aa	g tt	t gt	t ga	a t	tc	1220
									y Va									
		275					28					28						
tt	t	gg	c cc	g go	a ct	t ga	t ca	it ct	g cc	c gt	g gc	g ga	c cg	t go	a ac	c a	att	1268
									u Pr									
29						29					30						305	
		ลลเ	c at	.g g(et co	g ga	a ta	at gg	gt gc	a ac	t tg	c gg	g tt	c tt	c c	eg (gtt	1316
									ly Al									
414			1111	- 11.	31				,	31						20		
ar	a t	۵c	ø r1	it a			ic t	tc c1	tg cg			C gg	t ca	gt ga	at g	aa	cat	1364
									eu Ar									
ns	υħ	LI.	u Lt		25	, u 110		,	33		· · · ·	•			35			
4						++ ~		aa t	at ci		יר מי	g ns	g gr			tc	cgc	1412
C	KC.	аt	Ų a≀	zg C	rk R	rr R	-c. 8			-0 ~6	,		.0 00	,	5	-		

Arg	Ile	Lys 340	Leu	Val	Glu	Glu	Tyr 345	Leu	Arg	Ala	Gln	Gly 350	Met	Phe	Arg	
acg	cac	gaa	acg	cca	gaa	cct	gtc	ttt	aca	gat	gtt	ctg	gaa	ctg	gat	1460
Thr	His	Glu	Thr	Pro	Glu	Pro	Val	Phe	Thr	Asp	Val	Leu	Glu	Leu	Asp	
	355					360					365					
ctc	agc	acg	gtt	gtg	cct	tct	ctg	gca	ggg	ссс	aag	cgt	ccg	cag	gat	1508
Leu	Ser	Thr	Val	Val	Pro	Ser	Leu	Ala	Gly	Pro	Lys	Arg	Pro	Gln	Asp	
370					375					380					385	
cgc	gtg	gag	ctg	aaa	agc	gcc	aaa	acc	gcg	ttt	gaa	aaa	gaa	ctc	atc	1556
Arg	Val	Glu	Leu	Lys	Ser	Ala	Lys	Thr	Ala	Phe	Glu	Lys	Glu	Leu	Ile	
				390					395					400		
agc	tct	ttg	ggt	gtg	gcc	gct	aac	gat	gcc	gat	aaa	aag	gtg	ccg	gtt	1604
Ser	Ser	Leu	Gly	Val	Ala	Ala	Asn	Asp	Ala	Asp	Lys	Lys	Val	Pro	Val	
			405					410					415			
								cag								1652
Ala	Gly		Asn	Tyr	Asp	Leu		Gln	Gly	Asp	Ile		Ile	Ala	Ala	
		420					425					430				
_++		*	+				+		005	ant.	at a	ot a	att	aca.	got	1700
								aac Asn								1100
116	435	Sei	Cys	1111	ASII	440	261	VSII	110	Λια	445		116	MIA	Mia	
oot		σt.t.	gee	cgc	ลลฮ		cøt.	gct	cta	aac			cct	aag	ccg	1748
								Ala								
450				6	455		0			460				•	465	
	gtg	aaa	acc	tct		gct	ccg	ggg	tct	cag	gtt	gtt	acg	gat	tac	1796
								Gly								
				470					475					480		
ctg	aac	cgc	tct	ggc	ctg	acg	acg	gat	ctg	gat	gcc	atg	ggc	ttc	aat	1844
Leu	Asn	Arg	Ser	Gly	Leu	Thr	Thr	Asp	Leu	Asp	Ala	Met	Gly	Phe	Asn	
			485					490					495			
acc	gtt	ggg	tat	ggt	tgc	acc	acc	tgt	atc	ggt	aac	tcc	ggt	ccg	ctg	1892
Thr	Val	Gly	Tyr	Gly	Cys	Thr	Thr	Cys	Ile	Gly	Asn	Ser	Gly	Pro	Leu	
		500					505					510				
								gaa								1940
Pro	Ser	His	Ile	Val	Asp	Ala	Ile	Glu	Asn	Asn	Asp	Leu	Val	Ala	Val	
	515					520					525					
								ttt								1988
		Leu	Ser	Gly			Asn	Phe	Glu			He	Ser	Pro		
530					535					540					545	
a++	caa	acc	gac	tat	cta	σca	200	ccg	CCB	ctø	σtσ	øt.ø	gca	t.g.t.	tee	2036
								Pro								
				550					555					560		
ctt	ctt	ggc	acc			aag	gat	att			gaa	ccg	ctg		aca	2084
								Ile								
			565			·	•	570					575			
tcc	aag	gat	ggc	aag	ccg	gtt	tac	ctg	aag	gat	atc	tgg	ccg	acc	aac	2132
Ser	Lys	Asp	Gly	Lys	Pro	Val	Tyr	Leu	Lys	Asp	Ile	Trp	Pro	Thr	Asn	
		580					585					590)			
aag	gaa	att	gct	gac	ctt	att	gct	tct	gcc	ato	ago	cgt	gac	gag	ttt	2180

Lys	Glu 595	Ile	Ala	Asp	Leu	Ile 600	Ala	Ser	Ala	Ile	Ser 605	Arg	Asp	Glu	Phe	
atc	aac	cgt	tac	aag	aac		tcc	aaa .	ggc	acg	aag	gaa	tgg	cag	ggt	2228
	Asn	_														
610		Ū	•	•	615					620					625	
	aag	gtt	gct	acg	ggt	tct	gaa	acc	tat	ggg	tgg	gat	ccg	ccg	tac	2276
	Lys															
	-•			630	•				635	-				640		
ttc	aag	cat	atg	gat	att	gaa	ссс	aag	gct	ccg	ggc	aat	atc	gaa	ggt	2324
	Lys															
			645					650					655			
gcg	cgt	att	ctg	gcc	ctg	ctg	ggt	gac	aac	atc	acg	acc	gac	cat	atc	2372
Ala	Arg	Ile	Leu	Ala	Leu	Leu	Gly	Asp	Asn	Ile	Thr	Thr	Asp	His	Ile	
		660					665					670				
tct	ccg	gca	ggc	tcc	atc	aag	aag	gat	tcc	ccg	gct	ggt	cgt	tac	ctg	2420
Ser	Pro	Ala	Gly	Ser	Ile	Lys	Lys	Asp	Ser	Pro	Ala	Gly	Arg	Tyr	Leu	
	675					680					685					
atg	gaa	cac	ggg	gtt	gaa	ccc	aaa	gac	ttc	aac	tct	tgt	ggc	tcc	cgc	2468
Met	Glu	His	Gly	Val	Glu	Pro	Lys	Asp	Phe	Asn	Ser	Cys	Gly	Ser	Arg	
690					695					700					705	
cgt	ggg	aat	gac	cgc	gtg	atg	gtg	cgt	ggt	act	ttt	gcc	aac	atc	cgt	2516
Arg	Gly	Asn	Asp	Arg	Val	Met	Val	Arg	Gly	Thr	Phe	Ala	Asn	Ile	Arg	
				710					715					720		
ato	aaa	aac	gaa	atg	ctg	cct	ggt	acg	gaa	ggt	ggg	tat	tcc	aag	cac	2564
Ιle	Lys	Asn	Glu	Met	Leu	Pro	Gly	Thr	Glu	Gly	Gly	Tyr	Ser	Lys	His	
			725					730					735			
	ccg															2612
Phe	Pro	Asp	Gly	Lys	Glu	Gly	Ala	Ile	Tyr	Asp	Val	Ala	Met	Glu	Tyr	
		740					745					750				
															ggc	2660
Lys	Lys	Asp	His	Val	Pro	Leu	Val	Val	Ile	Gly			Glu	Tyr	Gly	
	755					760					765					
															ggc	2708
Me	t Gly	Ser	Ser	Arg			Ala	Ala	Lys			Leu	Leu	ı Let	Gly	
770					775					780					785	0.55
-															ggc	2756
٧a	l Lys	: Ala	va]	Il€	Ala	Glu	Ser	Phe			Are	Cys	Are		Gly	
				790					795		,			800		2224
															ctg	2804
Th	r Cys	S Sea	r Are	g Ala	a Glr	Ser	Cys			Pro	Phe	e Are		_	e Leu	
			808					810					818			00.50
															tgtg	2852
Ar	g Trp	Ala	a Pro	Pro	Ser	Ala			ı Asp) Le	ı Val			y His	s Val	
		820					825					830				0000
-															a aca	2900
As			ı Pho	e Ala	a Asr			G]ı	ı Ile	e Cy:			1 Ty:	r Gli	ı Thr	
	838					840					84					00.40
															t ttt	2948
		n Pho	e Ası	p Va			a Ara	g His	s Thi			n Ası) Th	r Th	r Phe	
85	Λ				85	5				86	υ				865	

```
gca gcg ctc aca cgc tct ggc ttg ggc agc gtt gtc cta cac gat ggg
Ala Ala Leu Thr Arg Ser Gly Leu Gly Ser Val Val Leu His Asp Gly
                870
caa atg acc aag gtt gcg acg gtg ccc aca cag gtt gtg gat aca cag
                                                                  3044
Gln Met Thr Lys Val Ala Thr Val Pro Thr Gln Val Val Asp Thr Gln
                                                                  3073
gcg ctg gag atg cca tgc tgc tgactgga
Ala Leu Glu Met Pro Cys Cys
        900
<210> 2
<211> 904
 <212> PRT
 <213> Acetobacter aceti
 Met Lys Thr Val Gly His Asp Lys Leu Lys Thr Gly Arg Thr Leu Glu
                                      10
                   5
 Val Asp Gly Lys Thr Tyr His Tyr Phe Ser Ile Pro Glu Ala Ala Lys
                                  25
 Thr Ile Gly Asp Val Ser Arg Leu Pro Val Ser Leu Lys Val Leu Leu
                              40
 Glu Asn'Ile Leu Arg Phe Glu Asp Gly Arg Ser Tyr Asn Val Asp Asp
 Ala Lys Ala Ile Ala Gly Trp Leu Pro Lys Gly Ser Ser Lys Glu
                                          75
 Val Pro Phe Lys Pro Ser Arg Ile Leu Met Gln Asp Phe Ala Gly Val
                                       90
  Pro Gly Val Val Asp Leu Ala Ala Met Arg Asp Gly Ile Val Ser Leu
                              105
  Lys Gly Asp Pro Gln Lys Val Asn Pro Met Val Pro Val Asn Leu Val
                              120
  Ile Asp His Ser Val Thr Val Asp His Ala Gly Thr Lys Asp Ala Leu
                                              140
                          135
  Gln Glu Asn Ile Thr Leu Glu Phe Glu Arg Asn Ala Glu Arg Tyr Ala
                                          155
                      150
  Phe Leu Arg Trp Gly Gln Val Ala Phe Glu Asn Phe Ser Val Val Pro
                                      170
  Pro Asp Thr Gly Ile Cys His Gln Val Asn Leu Glu Tyr Ile Ala Gln
                                   185
  Val Ala Trp Thr Ala Asn Val Gly Gly Lys Glu Tyr Val Tyr Pro Asp
                               200
   Ser Leu Tyr Gly Thr Asp Ser His Thr Thr Met Ile Asn Gly Leu Gly
                           215
   Val Leu Gly Trp Gly Val Gly Gly Ile Glu Ala Glu Ala Ala Met Leu
                                           235
                       230
   225
   Gly Gln Pro Ile Ala Met Leu Île Pro Asp Val Ile Gly Phe Lys Leu
                                       250
                   245
   Thr Gly Lys Leu Pro Glu Gly Ala Thr Ala Thr Asp Leu Val Leu Thr
                                   265
               260
```

Val	Thr	Gln 275	Met	Leu	Arg	Arg	Lys 280	Gly	Val	Va:	1 G1		ys 85	Phe	Val	G1	u
Phe	Phe 290		Pro	Ala	Leu	Asp 295	His	Leu	Pro	Va	1 A1 30		sp	Arg	Ala	Th	r
		Asn	Met	Ala		Glu	Tyr	Gly	Ala	Th:		s C	ly	Phe	Phe	Pr 32	
305	A	47-	1	The	310	Acn	Phe	ום ו	Arc			ır (:lv	Arg	Asp		
				325					330)					335		
His	Arg	Ile	Lys 340		Val	Glu	Glu	Tyr 345		ı Ar	g Al	a (iln	G1y 350	Met	Pr	ıe
Arg	Thr	His		Thr	Pro	Glu	Pro 360		Phe	• Th	r As		Val 365	Leu	Glu	Le	∍u
Asp	Leu			Val	Val	Pro	Ser		Al	a G1	y Pı	ro l	Lys	Arg	Pro	G	ln
	370					375					38	30					
Asp	Arg	Va1	Glu	Leu	Lys	Ser	Ala	Lys	Th	r Al	la Pl	ne I	Glu	Lys	Glu		
385					390	ı		,		39	95					4	00
He	Ser	· Ser	Leu	Glv	· Val	Ala	Ala	Asr	ı As	р А.	la A	sp	Lys	Lys	Va]	P	ro
				405					41						415		
Val	Ala	Gly	7 Thi 420		Туг	· Asp	Leu	G1;		n G	ly A	sp	Ile	Val 430		A	la
Ala	Ile		r Sei		Thi	- Ası	n Thi	Se		n P:	ro A	la	Val		11e	e A	la
41.	61.	43!		1 41.	. 1-	. 1	440 s Ala		or A1	аL	eu G	l v			Pre	. L	ys,
Ala	450		J VA.	I AIC	ı mı	45:						60	_				·
Pro	Tr	p Va	l Ly	s Thi	r Se:	r Le	u Ala	a Pr	o G1	y S	er G	ln	Va]	Va:	l Th	r A	lsp
46					47						75						₽80 •
Ty:	r Le	u As	n Ar	g Se:		y Le	u Th:	r Th		sp L 90	eu A	lsp	·Ala	a Me	t G1 49		he
As	n Th	r Va	1 G1 50		r Gl	у Су	s Th	r Th 50		s I	le (Gly	Ası	n Se: 51		уŀ	Pro
Le	u Pr		r Hi		e Va	l As	p Al	a Il		lu <i>P</i>	lsn /	Asn	As ₁		u Va	1 /	Ala
v.	1 0-	51 V-		\$0	~ G1	Δc	52 n Ar		n P	he (Hu (G1 v			e Se	\mathbf{r}	Pro
va	1 Se 53		ıı Le	u se	1 01	y A3		6 m				540					
As			g Al	a As	р Ту	r Le	u Al	a Se	er P	ro l	Pro	Leu	Va	l Va	1 A1	a	Cys
54					55						555						560
Se	r Le	eu Le	eu Gl	ly Th	ır Me	et Ai	rg Ly	rs A:	sp I	le '	Thr	Thr	G1	u Pr	o Le	eu	Gly
		•		56	55				5	70					57	75	
Th	ır Se	er L	ys As	sp G	ly L	/s P:	ro Va	al T	yr l	eu .	Lys	Asp	11			CO	Thr
				30					85				_	59			C1
		5	95				-	00					60)5			
Pl			sn A	rg T	yr L		sn A 15	la S	er l	ys	Gly	Th:		s G	lu T	rp	Gln
c		10 en L	vs V	al A	la T		ly S	er G	lu '	ſhr	Tyr			rp A:	sp P	ro	Pro
	19 L 25	ou L	۱ در	11		30	_, _				635						640
		he L	ys H	is M			le G	lu F	ro	Lys	Ala	Pro	o G	ly A	sn I	le	Glu
-					4 5					650						55	

```
Gly Ala Arg Ile Leu Ala Leu Leu Gly Asp Asn Ile Thr Thr Asp His
                                665
            660
Ile Ser Pro Ala Gly Ser Ile Lys Lys Asp Ser Pro Ala Gly Arg Tyr
                            680
Leu Met Glu His Gly Val Glu Pro Lys Asp Phe Asn Ser Cys Gly Ser
                        695
Arg Arg Gly Asn Asp Arg Val Met Val Arg Gly Thr Phe Ala Asn Ile
                                        715
                    710
Arg Ile Lys Asn Glu Met Leu Pro Gly Thr Glu Gly Gly Tyr Ser Lys
                                    730
                725
His Phe Pro Asp Gly Lys Glu Gly Ala Ile Tyr Asp Val Ala Met Glu
                                745
            740
Tyr Lys Lys Asp His Val Pro Leu Val Val Ile Gly Gly Lys Glu Tyr
                                                 765
                            760
        755
Gly Met Gly Ser Ser Arg Asp Trp Ala Ala Lys Gly Thr Leu Leu Leu
                                             780
                        775
Gly Val Lys Ala Val Ile Ala Glu Ser Phe Pro Pro Arg Cys Arg Thr
                                         795
                     790
Gly Thr Cys Ser Arg Ala Gln Ser Cys Ser Phe Pro Phe Arg Pro Ile
                                     810
                 805
Leu Arg Trp Ala Pro Pro Ser Ala Phe Leu Asp Leu Val Lys Gly His
                                 825
             820
 Val Asp Ile Leu Phe Ala Asn Glu Asp Glu Ile Cys Ala Leu Tyr Glu
                                                 845
                             840
 Thr Glu Asn Phe Asp Val Ala Ala Arg His Thr Ala Gln Asp Thr Thr
                                             860
                         855
     850
 Phe Ala Ala Leu Thr Arg Ser Gly Leu Gly Ser Val Val Leu His Asp
                                         875
                     870
 Gly Gln Met Thr Lys Val Ala Thr Val Pro Thr Gln Val Val Asp Thr
                                                          895
                                      890
                 885
 Gln Ala Leu Glu Met Pro Cys Cys
             900
 <210> 3
  <211> 3348
  <212> DNA
  <213> Gluconacetobacter entanii
  <220>
  <221> CDS
  <222> (489)..(3179)
  <400> 3
  gcatgctggc tgcgatcggc cagcgcatcg accccggccc acaggacatg gccgccttca 60
  ggtttgcgca aacccgcgag cacgcgcagc aaggtggact tgcccgcgcc attcggcccg 120
  gtcagaagca gggcgtcgcc cgcatccagc gtaaagccga cacggtccag aaccagccgt 180
  tcaccgcgga aaaccgatat attttccact tccagcaggg gacggccggg gggagtaaag 240
  gcaggaatga cggaaatcct ccgatcggtg ggtgaagggg cgggcgggtg aaaaaaacgc 300
  ctgctcccgc tttcttgtta ccgggtccag cttgtgtcgc aaccgcgtcc gggtatgttc 360
  taccccegtt gggagatcaa gcaggttgtc cccgacaagg tcgcaaatcc cgcacctatg 420
  gaagtggggc gggggaaagt ggtcatacgg gacgatccgt tgctgatgcc tcggaggaaa 480
```

and are and are are are	530
caaagcca atg aag acg gtt ggg cat gat tea atg aad acg got	550
Met Lys Thr Val Gly His Asp Ser Met Lys Thr Val Arg Thr	
1 5 10	
ctc aat gtg gac ggc aag acc tat cat tat ttc tca atc ccg gaa gct	578
Leu Asn Val Asp Gly Lys Thr Tyr His Tyr Phe Ser Ile Pro Glu Ala	
15 20 25 30	
gaa aag acg atc ggt tcc gtc agc cgc ctg ccg gtc agc ctg aaa gtg	626
Glu Lys Thr Ile Gly Ser Val Ser Arg Leu Pro Val Ser Leu Lys Val	
40 45	
-	674
ctg ctg gaa aac gta ctg cgg ttc gag gac ggg cat tcc tat tcg gtt	
Leu Leu Glu Asn Val Leu Arg Phe Glu Asp Gly His Ser Tyr Ser Val	
50 55 60	722
gag gat gcc aag gcc att gcg gaa tgg ctg aag gaa ggg cgc agc acg	122
Glu Asp Ala Lys Ala Ile Ala Glu Trp Leu Lys Glu Gly Arg Ser Thr	
65 70 75	
aag gaa gtt ccc ttc aag ccc gcg cgt atc ctg atg cag gat ttc acc	770
Lys Glu Val Pro Phe Lys Pro Ala Arg Ile Leu Met Gln Asp Phe Thr	
80 85 90	
ggc gtt ccc gcc gtg gtt gat ctg gcc gcg atg cgc gac ggc atc ctg	818
Gly Val Pro Ala Val Val Asp Leu Ala Ala Met Arg Asp Gly Ile Leu	
105 110	
95	866
aag ctg aag ggc gac ccg cag aag gtg aac ccg ctg gtt ccc gtc aac	
Lys Leu Lys Gly Asp Pro Gln Lys Val Asn Pro Leu Val Pro Val Asn	
115 120 125	014
ctg gtg atc gac cat tcg gtc atg gtg gac gtg gcc ggt tcg ccc gaa	914
Leu Val Ile Asp His Ser Val Met Val Asp Val Ala Gly Ser Pro Glu	
130 135 140	
gcg ctg cag gac aac gta acc atc gag ttc gag cgc aat ggc gaa cgc	962
Ala Leu Gln Asp Asn Val Thr Ile Glu Phe Glu Arg Asn Gly Glu Arg	
145 150 155	
tac gcc ttc ctg cgc tgg ggc cag gaa gcg ttt gaa aac ttc tcc gtc	1010
Tyr Ala Phe Leu Arg Trp Gly Gln Glu Ala Phe Glu Asn Phe Ser Val	
170	
100	1058
gtg ccg ccg ggc acc gga atc tgc cac cag gtg aac ctg gaa tac atc	1000
Val Pro Pro Gly Thr Gly Ile Cys His Gln Val Asn Leu Glu Tyr Ile	
175 180 185 190	1100
gcg cag gcg gtg tgg acg gcg aat gtg gat ggc aag gac tac gcc tat	1106
Ala Gln Ala Val Trp Thr Ala Asn Val Asp Gly Lys Asp Tyr Ala Tyr	
195 200 205	•
ece gae ace etg tte gge acg gae age eat ace ace atg gte aac gge	1154
Pro Asp Thr Leu Phe Gly Thr Asp Ser His Thr Thr Met Val Asn Gly	7
015 220	
210	1202
atg ggc gtt ctg ggc tgg ggc gtt ggc ggg atc gag gcg gaa gcc gcg	
Met Gly Val Leu Gly Trp Gly Val Gly Gly Ile Glu Ala Glu Ala Ala	=
225 230 235	c 1250
atg ctg ggc cag ccg atc gcc atg ctc atc ccc gac gtg atc ggc ttc	
Met Leu Gly Gln Pro Ile Ala Met Leu Ile Pro Asp Val Ile Gly Ph	е
240 245 250	
aag ctg gtt ggc aag ctg ccc gag ggg gcg acc gcc acc gac ctg gt	g 1298
→	

																.,		
255					Leu 260					265						27	0	.0.2
					atg													1346
Leu	Thr	Val	Thr	G1n 275	Met	Leu	Arg	Lys	Lys 280	Gly	Val	Va:	l G1	_	ys 285	Ph	e	
gtc	gaa	ttc	ttc	ggt	cct	gcc	ctt	gac	cac	ctg	ccg	gt	t gc	c g	gac	cg	t	1394
				Gly	Pro									a A				
gcg	acc	atc	gcc	aac	atg	gcc	ccg	gaa	tat	ggc	gcg	ac	c te	gC . 8	ggc	tt	c	1442
					Met													
		305					310					31						
ttc	cca	σt.t	gat	gac	ctg	acg	ctg	gat	tac	cte	g cgo	ca	g a	cc ;	ggc	Cį	gt	1490
					Leu													
. rne	320		l usi	, wat	, Dea	325			-,-		330				·			
σ a σ			c cgo	ato	aag			gcg	gaa	tac	ct	g aa	g g	ca	cag	g	gc	1538
					. Lys													
335					340					34						_	50	
		. cgi	t ca	t gċ	e gaa	te	gcg	g cac	cce	gt	g tt	c ac	c g	at	acg	С	tg	1586
Met	Phe	Arı	g Hi	s Ala	a Glu	ı Ser	· Ala	a His	Pre	Va.	l Ph	e Th	ır A	sp	Thr	L	eu	
,,,,,,	• • • • •			35					36	_					365			
gaa	a cto	aa.	c ct	t ga	g acc	ato	gt	g cc	tc.	c at	c gc	c gg	gc c	сс	aag	C	gc	1634
Gli	ı Let	ı As	n Le	u Gl	u Thi	r Ile	e Va	l Pro	Se	r Il	e Al	a G	ly P	ro	Lys	: A	rg	
021			37					37						80				
cci	z ca	g ga	c cg	c gt	c gt	g ct	g aa	g gg	t gc	g ga	c aa	g g	cg t	tc	gag	g a	ag	1682
					1 Va													
		38					39						95					
ga	a ct	g ac	c gg	c ag	c ct	g gg	c gt	g cc	c ga	a go	c ga	ic a	ag g	gac	aai	g a	aag	1730
					r Le													•
	40					40					41	_						
gc	c aa	g gt	g go	t gg	gc ac	c aa	t ta	c ga	gat	c gg	gt ca	ac g	gc (gac	gt	g (gtg	1778
A1	a Lv	s Va	al Al	la GI	y Th	r As	n Ty	r Gl	u Il	e G	y H	is G	ly A	Asp	٧a	1 '	Val	
41					42	_					25						430	
		9 90	ec a	tc a	ec to	a te	c ac	c aa	c ac	c to	cc a	ac c	cc	gcc	gt	g	ctg	1826
11	- A1	a A	la I	le TI	nr S∈	er Cy	s Th	nr As	n Th	nr Se	er A	sn F	ro	Ala	٧a	1	Leu	
11	.c m				35	,				10					44			
at		יס סי	ca g		tg g1	tg go	g aa	aa aa	ag g	ca c	gt g	cg (etg	ggc	ct	g	aag	1874
11	۵ ما	a A	1a G	1 v L	eu Va	al Al	a L	vs L	rs A	la A	rg A	la I	_eu	Gly	Le	u	Lys	
1.				-, - 50					55					460				
c	oc as	ao c			tg a	ag ag	cc t	cg c	tc g	ca c	cg g	ga '	tcg	cag	gt	t	gtg	1922
D ₁	ro L	us P	ro T	rn V	al L	vs Tl	nr S	er L	eu A	la P	ro G	ly S	Ser	Glr	ı Va	ıl	Val	
1.2	LO D		65	*P ·		,		70					475					
9	rr ø:			tc a	ac c	gc g	cg g	gc c	tg c	ag g	cc g	aa	ctg	gao	g	g	atg	1970
T	hr A	en T	'ur I	eu A	sn A	rg A	la G	lv L	eu G	ln A	la G	lu	Leu	Ası	A .	la	Met	
41		3p 1 80	,				85	•				190						
~			ac s	icc e	tg g			gc t	gc a	.cg a	icc t	gt	atc	gge	c a	ac	tcc	2018
ع د	lv D	he A	(sn 1	Thr V	al G	lv T	yr G	ly C	ys 1	hr 1	hr (Cys	Ile	G1	y A	sn	Ser	
	19 r 95	IIO F	ו ויט	'		00			-		505	-					510	
		ce r	etø (รูลล เ	gat c		tc g	ctc g	at s	cg a	atc s	gaa	ggc	aa	c a	ag	ctg	2066
ر ب	ac c	os I	ا 10 ق	, e ;]11 /	Asp H	lis I	le V	al A	sp /	lla	[]e (Glu	Gly	As	n L	ys	Leu	
u	T A L	10 1	JUL (1			'	_ •					-					

				515					520					525		
gtt	gcg	gtg	tcg	gtc	ctg	tcg	ggc	aac	cgt	aac	ttc	gaa	ggc	cgt	att	2114
Val	Ala	Val	Ser	Val	Leu	Ser	Gly	Asn	Arg	Asn	Phe	Glu	Gly	Arg	Ile	
			530					535					540			
tcg	ccg	aac	gtg	cgc	gcc	aac	tac	ctg	gcc	agc	ccg	ccg	ctg	gtc	gtg	2162
Ser	Pro		Val	Arg	Ala	Asn		Leu	Ala	Ser	Pro		Leu	Val	Val	
		545					550					555				0010
			_	ctg			-	-	-							2210
Ala		ser	Leu	Leu	GIY	565	Met	Arg	GIU	ASP	570	mr	ш	1111	rro	
cta	560	200	tee	aag	oat.		ааσ	cca	σtσ	tac		ааσ	gac	atc	t.øø	2258
				Lys			_	_	-	_	_				_	
575	01)	••••	001	2,2	580	01)	2,2			585		_,_			590	
	acc	aac	cat	gaa		gcc	gcc	ctg	atg		tcc	gcc	atc	acg	cgt	2306
_				Glu		_	_									
				595			•		600					605		
gag	gag	ttc	atc	aac	cgc	tac	aag	cac	gta	agc	cag	ggc	acg	aag	gaa	2354
Glu	Glu	Phe	Ile	Asn	Arg	Tyr	Lys	His	Val	Ser	Gln	Gly	Thr	Lys	Glu	
			610					615					620			
				aag												2402
Trp	Gln	Ala	Leu	Lys	Val	Ala	Thr	Gly	Ser	Glu	Thr		Lys	Trp	Asp	
		625					630					635				0.450
				tac												2450
Ala		Ser	Thr	Tyr	Val		Asp	Pro	Pro	Tyr		GIn	Asp	He	Inr	
	640		-200			645	:	_4_	-+-	+	650		a+~	a+ a	707	2498
				ccg Pro												2430
655	GIU	110	Lys	110	660	Gly	ush	116	116	665	A14	шğ	Leu	Leu	670	
000					000					000						
ctg	ctg	ggt	gac	aac	atc	acg	acc	gac	cat	atc	tcg	cct	gct	ggc	gcg	2546
				Asn												
		•	_	675					680					685		
atc	aag	gaa	agc	tcg	cct	gcc	ggc	aag	tac	ctt	gaa	gag	cat	ggc	gtc	2594
Ile	Lys	Glu	Ser	Ser	Pro	Ala	Gly	Lys	Tyr	Leu	Glu	Glu	His	G1y	Val	
			690					695					700			
gcg	aag	aaa	gga	ctt	cac	tcc	tac	ggt	tcg	cgt	cgt	ggc	aat	gac	cgc	2642
Ala	Lys	Lys	Gly	Leu	His	Ser	Tyr	Gly	Ser	Arg	Arg	Gly	Ásn	Asp	Arg	
		705					710					715				
	_		_		_										atg	2690
Val			Arg	Gly	Thr		Ala	Asn	Ile	Arg			Asn	Glu	Met	
	720					725					730					0700
_															aag	2738
		Gly	Thr	Glu			Val	Ser	Lys			rro	'Asp	Gly	Lys	
735		4		. - 4	740		~ ~	o+-		745					750	2786
_					_										gtg	2100
GIU	GIÀ	Ser	116	755		141	viq	MG (760		∟y S	∟y S	910	765		
ccc	ctø	gtc	gtø			ggo	aag	gaa			atg	ggc	tcc		cgc	2834
	_	-					_								Arg	
			770		,	,	-	775				,	780			

```
gac tgg gcg gcc aag ggc acc ctg ctg ctg ggc gtg cgt gcg gtg att
                                                                   2882
Asp Trp Ala Ala Lys Gly Thr Leu Leu Cly Val Arg Ala Val Ile
                            790
gee gaa age tte gag egt ate eac egt tee aac etg gtg gge atg gge
                                                                   2930
Ala Glu Ser Phe Glu Arg Ile His Arg Ser Asn Leu Val Gly Met Gly
                        805
                                            810
gtg ctg ccg ctg ctg ttt gaa gaa ggc acg acg cgc aag acg ctg ggc
                                                                   2978
Val Leu Pro Leu Leu Phe Glu Glu Gly Thr Thr Arg Lys Thr Leu Gly
                    820
                                        825
ctg aag ggt gac gag acc ttc gaa atc cgc ggt ctg gac aag atc acg
                                                                   3026
Leu Lys Gly Asp Glu Thr Phe Glu Ile Arg Gly Leu Asp Lys Ile Thr
                835
                                    840
ccg cgt atg acg atg acg atg aca atc acc cgc gcc gat ggc tcc aag
                                                                   3074
Pro Arg Met Thr Met Thr Met Thr Ile Thr Arg Ala Asp Gly Ser Lys
            850
cag gac gtt ccg ctg ctg tgc cgt gtc gat acg ctg gac gag gtg gag
                                                                   3122
Gln Asp Val Pro Leu Leu Cys Arg Val Asp Thr Leu Asp Glu Val Glu
        865
                            870
                                                                   3170
tat ttc cgc aat ggc ggc att ctc cag acc gtg ctg cgt ggc atg acc
Tyr Phe Arg Asn Gly Gly Ile Leu Gln Thr Val Leu Arg Gly Met Thr
                                            890
    880
                        885
aag gee geg taatcacatg atcegeeceg gtteeggteg ggatggatga
                                                                   3219
Lys Ala Ala
895
taaagacggc ggtccgtatc acacgggccg ccgttttttt atgggcagat catatatgca 3279
tattcagcat aggttaccgg tgttaccgtt gcattttaca catatcggtg gtgtcttttc 3339
                                                                   3348
tctgtattg
<210> 4
<211> 897
<212> PRT
<213> Gluconacetobacter entanii
<400> 4
Met Lys Thr Val Gly His Asp Ser Met Lys Thr Val Arg Thr Leu Asn
  1
                  5
                                     10
Val Asp Gly Lys Thr Tyr His Tyr Phe Ser Ile Pro Glu Ala Glu Lys
             20
                                  25
Thr Ile Gly Ser Val Ser Arg Leu Pro Val Ser Leu Lys Val Leu Leu
                             40
Glu Asn Val Leu Arg Phe Glu Asp Gly His Ser Tyr Ser Val Glu Asp
                         55
                                              60
Ala Lys Ala Ile Ala Glu Trp Leu Lys Glu Gly Arg Ser Thr Lys Glu
                     70
                                          75
Val Pro Phe Lys Pro Ala Arg Ile Leu Met Gln Asp Phe Thr Gly Val
                                      90
Pro Ala Val Val Asp Leu Ala Ala Met Arg Asp Gly Ile Leu Lys Leu
                                 105
                                                     110
Lys Gly Asp Pro Gln Lys Val Asn Pro Leu Val Pro Val Asn Leu Val
Ile Asp His Ser Val Met Val Asp Val Ala Gly Ser Pro Glu Ala Leu
```

	130					135					140				
Gln	Asp	Asn	Val	Thr	Ile	Glu	Phe	Glu	Arg	Asn	Gly	Glu	Arg	Tyr	Ala
145					150					155					160
Phe	Leu	Arg	Trp	Gly	Gln	Glu	Ala	Phe	Glu	Asn	Phe	Ser	Val	Val	Pro
				165					170					175	
Pro	Gly	Thr	Gly	Ile	Cys	His	Gln	Val	Asn	Leu	Glu	Tyr	Ile	Ala	Gln
			180					185					190		
Ala	Val	Trp	Thr	Ala	Asn	Val	Asp	Gly	Lys	Asp	Tyr	Ala	Tyr	Pro	Asp
		195					200					205			
Thr	Leu	Phe	Gly	Thr	Asp	Ser	His	Thr	Thr	Met	Val	Asn	Gly	Met	Gly
	210					215					220				
Val	Leu	Gly	Trp	Gly	Val	Gly	Gly	Ile	Glu	Ala	Glu	Ala	Ala	Met	Leu
225					230					235					240
Gly	Gln	Pro	Ile	Ala	Met	Leu	Ile	Pro	Asp	Val	Ile	Gly	Phe	Lys	Leu
				245					250					255	
Val	Gly	Lys	Leu	Pro	Glu	Gly	Ala	Thr	Ala	Thr	Asp	Leu	Val	Leu	Thr
			260					265					270		
Val	Thr	Gln	Met	Leu	Arg	Lys	Lys	Gly	Val	Val	Gly	Lys	Phe	Val	Glu
		275				•	280					285			
Phe	Phe	Gly	Pro	Ala	Leu	Asp	His	Leu	Pro	Val	Ala	Asp	Arg	Ala	Thr
	290					295					300				
Ile	Ala	Asn	Met	Ala	Pro	Glu	Tyr	Gly	Ala	Thr	Cys	Gly.	Phe	Phe	Pro
305					310					315					320
Val	Asp	Asp	Leu	Thr	Leu	Asp	Tyr	Leu	Arg	Gln	Thr	Gly	Arg	Glu	Glu
				325					330					335	
His	Arg	Ile	Lys	Leu	Thr	Ala	Glu	Tyr	Leu	Lys	Ala	Gln	Gly	Met	Phe
			340					345					350		•
Arg	His	Ala	Glu	Ser	Ala	His	Pro	Val	Phe	Thr	Asp	Thr	Leu	Glu	Leu
		355					360					365			
Asn	Leu	Glu	Thr	Ile	Val	Pro	Ser	Ile	Ala	G1y	Pro	Lys	Arg	Pro	Gln
	370					375	;				380				
Asp	Arg	Val	Val	Leu	Lys	Gly	Ala	Asp	Lys	Ala	Phe	Glu	Lys	Glu	Leu
385					390					395					400
Thr	Gly	Ser	Leu	Gly	Va]	Pro	Glu	ı Ala	Asp	Lys	Asp	Lys	Lys	Ala	Lys
				405					410					415	
Val	Ala	Gly	Thr	Asr	Туг	Glu	ı Ile	Gly	His	Gly	Asp	Val	Val	Ile	Ala
			420					425					430		
Ala	ı Ile	. Thi	Ser	Cys	Th:	. Ası	n Thr	Ser	Asr	Pro	Ala	Val	Leu	ı Ile	Ala
		435					440					445			
Ala	s G13	Lei	ı Val	Ala	a Lys	s Lys	s Ala	a Are	, Ala	Let	ı Gly	Leu	Lys	Pro	Lys
	450					45					460				
Pro	Tr	Va:	l Lys	Th:	r Sea	r Lei	ı Ala	a Pro	G13	7 Ser	Gln	[Va]	Va]	Thi	Asp
465	_				470					475					480
		ı Ası	n Arg	g Ala	a Gl	y Lei	u Glr	n Ala	a Glu	ı Let	ı Asp	Ala	Me1	t Gly	Phe
-				48	_				490					498	_
Ası	n Thi	r Va	1 G1y	7 Туз	r Gl	у Су	s Thi	r Thi	r Cys	s Ile	e Gly	Asr	Sez	r Gly	Pro
			500					50					510		
1	. 01.	. 1 ~	. Ui.	. 11.	o Va	1 4 6	n 41,	. 11.	a Cla	, G1v	, Acr	Lve	: lei	ı Və	l Ala

		515					520					525				
Val	Ser		Leu	Ser	Gly	Asn	Arg	Asn	Phe	Glu	Gly	Arg	Ile	Ser	Pro)
	530					535					540					
Asn	Val	Arg	Ala	Asn	Tyr	Leu	Ala	Ser	Pro	Pro	Leu	Val	Val	Ala	Туз	:
545					550					555					560)
Ser	Leu	Leu	Gly	Thr	Met	Arg	Glu	Asp	He	Thr	Thr	Thr	Pro	Leu	Gly	7
				565					570				_	575		
Thr	Ser	Lys	Asp	Gly	Lys	Pro	Val		Leu	Lys	Asp	Ile		Pro	Th:	r
			580					585	_			T)	590	C1	C1.	
Asn	His		Ile	Ala	Ala	Leu		Gly	Ser	Ala	Ile		Arg	GIU	GI	u
		595					600	C	C1m	C1	Thr	605	Glu	Trn	G1	n
			Arg	Tyr	Lys			Ser	GIN	GIY	Thr 620	Lys	Giu	пр	O.T.	
			v. 1	41-	Tha	615		Glu	Thr	Tvr	Lys	Trn	Asn	Ala	Se	r
		Lys	Val	Ala			Ser	GIU	1111	635		пр	пър	1114	64	
625		Т	V - 1	C1	630		Dro	Tur	Phe		Asp	He	Thr	Pro		
Ser	Thr	lyr	vai	645		rro	rio	1) 1	650		пор	110	****	655		_
D	1	Dwo	Ara			Ile	Ile	G1v			Leu	Leu	Ala			u
Pro	Lys	FIC	660		иор	110	. 110	665					670			
G1 v	Agr	. Asr			Thr	Ast	His			Pro	Ala	Gly	Ala	Ile	Ly	rs
Gly	no _F	675		, ,,,,,	••••		680					685				
		0														
Glu	ı Sei	Sei	Pro	Ala	G13	Lys	s Tyr	· Leı	ı Glu	ı Glu	ı His	61 ₃	Va!	Ala	L	/S
-	690				,,	698					700					
Lys	s Gly	y Lei	ı His	s Sei	. Tyi	G1:	y Sei	Ar	g Ar	g Gl	y Ası	n Ası	Arı	g Va	l Me	et
708					710					71						20
Va:	l Ar	g Gl	y Th:	r Phe	e Ala	a Asi	n Ile	e Ar	g Il	e Ly	s Ası	n Gl	ı Me	t Le	ı P	ro
				72					73					73		
G1	y Th	r Gl	u Gl	y G1	y Va	1 Se	r Ly	s Hi	s Ph	e Pr	o As	p Gl			u G	ly
			74					74					75			
Se	r Il	е Ту	r As	p Va	1 A1	a Me	t Gl	u Ty	r Ly	s Ly	s Gl			l Pr	o L	eu
		75					76				_	76			~	
Va	l Va	1 11	e Gl	y Gl	y Ly	s Gl	u Ty	r Gl	у Ме	t Gl	y Se		r Ar	g As	p i	rp
	77	•				77					78			4.7	,	1
Al	a Al	a Ly	s Gl	y Th			u Le	u Gl	y Va		g Al	a Va	1 11	e Al	a C	11u 300
78	5				79					79		W.	± C1	V.		
Se	r Ph	ne Gl	lu Ai			s At	g Se	er As			al G1	у ме	et G	ıy v a 81		eu
				80				Tri .		10 T	TI	se La	G			VS
Pı	o Le	eu Le			iu Gi	lu G.	ly Ir		-	rg L	ys Tł	II De	εu U. R'	30 30	Ju I	2,3
				20 	0.	1 T	1 - 1-		25 1 1.	au A	en Iv	, e 1			ro i	Arg
G:	ly A			hr Pi	ne G.	lu I			IY L	eu n	sp L		15 15			
		8:	35				84	40				Ū.	10			
		,			Ti	L. T	1 . T	h 24 Λ.	ra A	1 a A	en G	lv S	er I.	vs G	ln.	Asp
M			et I	nr M	et II		1e 11 55	и и	TR W	ıa n	sp G 8	19 5 60		,		
17		50 '		au C	V.S. A.			sn T	hr I	eu A	sp G		al G	lu T	yr	Phe
		ro L	eu L	eu C		rg v 70	ui N	- P	L		35 C 75			•	-	880
	65 ~~ 4	en C	1 1 1	lv T			ln T	hr V	all		rg G	ly M	et T	hr L	ys	Ala
Λ	16 N		., u		85					90					95	
												-				

⟨210⟩ 5

<211> 35

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> Discription of Artificial sequence:primer

<400> 5

gagagcgatt atgaaaacgg ttgggcaccg ataag

35

<210> 6

<211> 35

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> Discription of Artificial sequence:primer

<400> 6

tccagtcagc agcatggcat ctccagcgcc tgtgt

35

[0066]

【配列表のフリーテキスト】配列番号5:プライマー 配列番号6:プライマー

【図面の簡単な説明】

【図1】SphIを用いてクローニングされたアセトバクター・アセチ由来の遺伝子断片の制限酵素地図とアコニターゼ遺伝子の位置、及びpACO1への挿入断片の概略図。

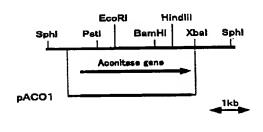
【図2】SphIを用いてクローニングされたグルコン

アセトバクター・エンタニイ由来の遺伝子断片の制限酵素地図とアコニターゼ遺伝子の位置、及びpACO11 20 への挿入断片の概略図。

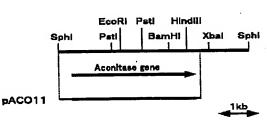
【図3】アセトバクター・アセチ由来のアコニターゼ遺伝子のコピー数を増幅した形質転換株の培養経過を示す図面。

【図4】グルコンアセトバクター・アンタニイ由来のア 25 コニターゼ遺伝子のコピー数を増幅した形質転換株の酢 酸含有培地での培養経過を示す図面。

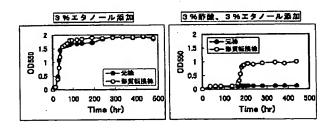
【図1】



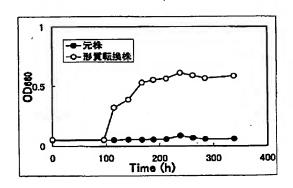
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

C 1 2 R 1:02)

(51) Int. Cl. ⁷

識別記号

ΓI

テーマコード(参考)